

# 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 7年 11 月 27 日

P T A名		静岡県立吉田特別支援学校 P T A (駿遠分教室)	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱	
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	204人(内、分教室14人)	

## 1. 使用状況

寄贈物品名	トランポリン
使用学年及び人数	小学部3～6年 8人、中学部1～3年 2人
使用頻度	小学部:中学部:毎月1回 5月～11月で計6回
使用状況	<p>小学部:生活単元学習、自立活動</p> <p>中学部:自立活動、昼休み</p>
物品の使用による変化や効果	<p>【小学部】生活単元学習「公園に行こう」の学習で、校内で公園に見立てた遊びの遊具の一つとして取り扱った。トランポリンで遊ぶことを楽しみに約束や順番を守る姿が見られた。自立活動の学習では、跳ね上がる感覚を楽しむこと、体のバランスを崩さずに跳ねることを目標に取り組んだ。笑顔で繰り返し跳ぶ姿や体のバランスを取りながら跳ぶ姿が見られた。</p> <p>【中学部】自分から身体を動かすことが少ない生徒が、自ら粗大運動に取り組むことができた。トランポリンが楽しみで自発的に準備をしたり、活動をしたことを伝えたりする姿が印象的です。連続で垂直にジャンプするのが楽しく、20回程連続でジャンプすることも多々ある。トランポリン特有の反発も良くジャンプをするだけで体幹も鍛えられるので楽しみながら運動に取り組んでいる。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>【小学部】今後も生活単元学習や自立活動の時間に利用していく。休み時間の利用は、安全を確保した上で、日にちを決めて行っていく。</p> <p>【中学部】中学部の生徒にとってバーの背丈が低く、跳躍をすると前傾になり少し危ない部分もあるため、調整しながら今後も自立活動の中で粗大運動や余暇活動として取り入れていきたい。生徒の今後も考え、身体作りはもちろんだが、余暇活動の一つとして繋がっていくことを期待したい。</p>
その他希望や所感など	<p>【小学部】トランポリンは、跳ぶ感覚をあげようこと、バランスを崩さずに姿勢を維持するを行ううえで、とても有効な題材である。</p> <p>【中学部】自分から、積極的に運動に取り組むことが難しい生徒の自発性を引き出すことができた。</p>

## 2. 活用の様子



【小学部】バランスを意識しながら、姿勢を変えて跳んでも、まっすぐ上に跳ね上がりました。



【中学部】自立活動の時間  
日常では味わえない感覚や、トランポリン特有の反発が楽しく、何度もジャンプをしていました。

